

(7) グループカウンセリング研究会

会長 矢野川 研 (東中筋中)
 副会長 沖屋 あずさ (東中筋中)
 事務局 朝比奈 光代 (中筋小)

1. 研究主題

「人間関係を高める教育指導法の研究」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会 場	備 考
令和2年8月17日(月)	第1回研修会 ① 人間関係づくりの基本 ② 仲間づくりのための実践活動 ③ 研究授業の指導案検討	安並体育館	19名参加
令和2年8月28日(金)	第2回研修会 ① 公開授業(全校特活) 「キーパンチ」 東中筋中学校 全校生徒 授業者 矢野川 研 他	東中筋中学校 (体育館)	10名参加
令和2年10月9日(金)	第3回研修会 ① 学級集団づくり 東中筋中学校 2年生 授業者 大岡スクールカウンセラー	東中筋中学校 (体育館)	4名参加

3. 本年度の取り組み

(1) なかまづくりのための実践活動(矢野川先生より)

①アイスブレイキング

- ・クイックチェック
- ・ペアで1・2・3
- ・サイン集め
- ・マッピング〈スポットマーカー〉
- ・共通点探し
- ・オセロ紹介
- ・ストーリー テリング
- ・インパルス(名前で、握手で)
- ・ネームトス「〇〇さん。」「はい。」「××です、よろしく!」「××さん、ありがとう。」
〈人形、ぬいぐるみ〉
- ・グループ ジャグリング
- ・バースデーリング(バーバル、ノンバーバル) 〈スポットマーカー〉
- ・ビート 2人～
- ・ミラーストレッチ
- ・つま先オニ 2人～



- ・オオカミと豚
- ・ステップインステップアウト
- ・ピープル・トゥ・ピープル
- ・アイ パス マイシューズ
- ・ボールパス 〈ビーチボール〉
- ・キャッチ!
- ・ハブユーエバー (同じ体験した人は入れ替わる)
- ・フープくぐり
- ・キーストーン (背中合わせで移動～)
- ・ヤートサークル



②アクティビティ

- ・ヘリウムフープ 5 人～ 〈フラフープ〉
- ・もちばい 〈ゴムボール〉
- ・キーパンチ 〈番号カード 1 ～ 3 0〉
- ・大縄くぐり 〈大縄〉
- ・空飛ぶタマちゃん 〈養生シート、人形〉
- ・リ・ズーム (Re-zoom) 〈絵カード〉
- ・ニモ
- ・セーブ・ジ・アース 〈ビーチボール〉
- ・X人Y脚 ひもなしで (バーバル、ノンバーバル)



(2) 公開授業

①教材名 「キーパンチ」

②展開

活 動 内 容	留 意 点
① 導入 ・名前をガムテープに書き、胸に貼る。	① ・自分が呼んでほしい名前を書く。
② 目標の提示、本時の注意点説明	②
③ バースデーリング ・生徒各自が誕生日を聞き合い、順番に環状に並ぶ。 ・順番に並べているか、確認する。	③ ・目標「たくさんの人と話そう」 「自分の意見を言い、友達の話进行を聞こう」 ③ ・並ぶ間隔を十分に取らせる。 ・誕生日順を変えることもある。
④ 二者択一 ・4 人チームでワークシートを使い、自分の好みと理由を聞き合う。	④ スムーズな進行を支援する。
⑤ キーパンチ ・運動会の紅白チームに分かれてルールを確認する。 ・1 回目に挑戦し、2 回目の目標を立てる。 ・2 回目に挑戦した後、全体でシェアリングする。	⑤ ・運動会の紅白対抗とする。 ・各チームの活動を観察する。 ・適宜、作戦タイムをとる。 ・話し合いを重視する。
⑥ 元の列に並び、振り返りシート記入 (各自)	⑥ 終了 10 分前を目安にする。

⑦ シェアリング	⑦ 輪になって、顔が見えるように座る。
----------	------------------------

※⑤以外は新型コロナウイルス対策として、マスクを着用する。

公開授業後の反省

- ・教員間で活動を練習してみて生徒たちの行動を予想しても生徒の意外な行動が見られた。やはり授業で実践してみ指導者が経験を積んでいくことが必要だと感じた。
- ・スクールカウンセラーの授業を通して自分のクラスの生徒たちを観察することで、集団としての良さや課題が見えた。また、スクールカウンセラーの視点から見た学級集団の特性等も確認できた。

4. 成果と課題

- ・夏休みに行った実践活動では、自校ですぐに活用できる内容を学ぶことができてよかった。
- ・各学校の実態や課題に照らし合わせ、どのような活動を取り入れていけばよいのか考えるきっかけにになった。
- ・教員同士で仲間づくりを体験し、難しさや生徒の立場に立って考えることができた。
- ・人間関係づくりは、一度きりの取り組みではなく、継続した取り組みが大切である。
- ・子ども同士のかかわりの中で、他の人の意見を聞き、自分の意見を交えて考え、よりよい人間関係を築き実践していく力を育てていきたい。
- ・来年度も指導者が活動をたくさん体験し、実践につなげていきたい。